



「ありのままのはなぞのを見せるのよ！」

利用者委員会の皆さんが話し合っただけで、今年の学苑祭のテーマです。ありのままのはなぞのということで、あんまり気張らずに、昨年とは違って外部の方に多く来ていただいていたのステージ発表はありません。ちょっと寂しい感じがするかもしれませんが、その分は利用者さんの発表でカバーしていくことになります。



午前のスタートでは、日頃の活動の様子などを中心に、各グループから発表をしてもらいます。午後の終わりには、熊本市育成会大会の時に発表した歌とダンスを計画しています。変なサプライズもあるかもしれません。

各グループの作業活動で製作した製品の販売は、例年どおりに行います。また、保護者会や育成会の販売もありますし、地域の消防団・婦人会の餅の販売、元苑長が育てられたメダカの販売もあります。農芸班の野菜が、天候不順のためかよくありません。その代わりと言っては何ですが、保護者会の時に販売しました黒にんにくの安くておいしいのがありますし、さらに新しいものも計画してあるみたいです。

食バザーもありますので、よろしかったら、ちょっとだけでも期待しお出でいただくとありがたいです。



MATSUZAKI HAIR SALON

Hさんの毎朝の日課になっていますが、事務室の椅子に座ると松崎副苑長の手が器用に動き、写真のような見事なヘアスタイルとなってしまいます。ちなみに、私がしてあげようかと言うと無言か「よか！」の一言。大学浪人をしている時には、私もそこそこ髪を伸ばしていましたので、自分でちょっとクルクルってしてましたから、私にもできないはずはないと思うのですが……。

申し添えておきますが、料金はいただいておりません。すべてサービスとなっています。なお、Nさんのおかかえは花心の中川さんみたいですよ。

私たちに求められるもの

先日、あるお母さんからのご案内で、大学教授で社会福祉法人の理事長をされている先生のお話を聞く機会がありました。聞いている人のほとんどが福祉の専門家ではありませんでしたので、知的障がい者とかかわってきて考えることという基本的な障がい者理解のお話でした。その資料の中に、私たちに求められる力ということで記されていたことが、なるほどそうだと思いますので、ここに紹介しておきます。

- ①何を願っているのかを十分に「観察する力」
- ②その願いについて彼らなりの仕方で表現ができるのを「待てる力」
- ③表情や態度や奇声や行動等々の様々な形で行う表現を
「聴く力」「様々な可能性を想像する力」
- ④聴いたことを「理解する力」
- ⑤理解したことを当事者にわかる仕方で「伝える力」

どれ一つとして欠けることがあれば、利用者さんとのコミュニケーションがうまく取れず、ギクシャクとした生活になっていくような気がします。職員一人一人が今の自分に大切な力は何であるかを振り返ってみたいと思います。ご家庭でもいかがですか。